

**重版
決定!**

2刷4万3000部!
重版予約、受付中です。

※11/14までにご注文いただければ、11/25に搬入いたします。

涙があふれて止まらない、本当にあった31の出来事。

この世で一番大切な日

心温まる31の誕生日ストーリー

著:十川ゆかり 体裁:B6・ソフトカバー 192ページ 東15ミリ

定価:1260円(税込) 発行・発売:サンクチュアリ出版

誕生日で泣いたこと、ありますか?

あるミュージシャンのライブMCで語られ、
観客の大半が涙した感動ストーリーを書籍化。



販促ネタ1

「Amazon.co.jp
プレゼントしたい本 第1位」
を獲得! これを掲載した新パネルを作成しました。



パネルの端に
デコレーションを
してあります。

販促ネタ2

**サンプル書籍を
作成しました!**

「最近あまり実家に
帰ってない人へ」

「家族のためにが
んばっている人へ」

などのインデックスを
付けた立ち読み用
書籍です。



※5冊以上ご注文でお願いいたします。

11/25 出来重版予約	番線印	この世で一番大切な日 心温まる31の誕生日ストーリー 著:十川ゆかり 定価:1260円(税込) 発行・発売:サンクチュアリ出版 ISBN978-4-86113-955-0		4月24日 発売	A4デコレーションパネル POPコード99991346	はい
					A3デコレーションパネル POPコード99991347	はい
					5冊以上 特典CD POPコード99991248	希望する 枚
					5冊以上 サンプル本 POPコード99991249	はい
					新帯 POPコード99991228	枚
				POP POPコード99991119	はい	
				10冊以上 メッセージカード入り BOX POPコード99991125	はい	
	条件:注文	冊	ご注文数	ご担当者様名	様	弊社担当

サンクチュアリ出版注文受付 **FAX03-5775-5193**

メール案内希望はこちらまでお願いします。eigyos@sanctuarybooks.jp

2011/10/31

販促ネタ3

購入者
特典!

山崎拓巳さん×十川ゆかりさん

(「ひとり会議の教科書」「やる気のスイッチ!」) (本書の著者)

の対談CDを作成しました。



5冊以上ご注文の書店様に、CDをお送りいたします。

※CDの発送は11月下旬を予定しております。 ※CDは宅急便にてお送りいたします。
※CDを配布される書店様は、著者ならびに弊社サイトにて告知させていただきます。

「この世で一番大切な日」より1エピソードを紹介

■見知らぬおじさん

<前略>

離婚するとき、私は妻と2つの約束をした。ひとつは年に一度、娘の誕生日だけは会いにきてもいいということ。もうひとつは、そのときに自分が父親であるという事実を娘には明かさないでほしいということ。

自分が父親だということを言えない。それは私にとってつらい決まり事ではあったが、娘にとってはそれが最良の選択だあることもわかっている。年に一度、娘の誕生日と一緒に祝えるだけでも感謝しないとイケない。

それ以来、娘の誕生日にはプレゼントを買い、ふだんは着ないスーツを着て母子に会いにいった。

元妻は私のことを「遠い親戚のおじさん」と紹介した。娘も冗談なのかんなのか私のことを「見知らぬおじさん」と呼んだ。

<中略>

娘が小学校にあがる年のことだ。

例年通り私がスーツを着てプレゼントを持って母子のもとを訪れると、元妻から「もう会いに来るのは最後にしてほしい」と言われた。

そろそろいろんなことを理解してしまう歳だからと。

それが理由だという。

私にはわかっていた。

新しいことがはじまろうとしているのだ。

娘にもやがて一緒に誕生日を祝う同級生ができるだろう。

元妻は、再婚を考えているかもしれない。

そんなところに「見知らぬおじさん、がいてはイケない。

<中略>

それ以来、母子と会うことはなくなった。

だが娘の誕生日だけはどうしても忘れられず、毎年プレゼントだけは贈り続けた。筆箱や本などささやかなものを、差出人の欄になにも書かず送った。

それを元妻が娘に渡してくれていたかどうかはわからないが、ただ「娘の誕生日を祝う」という行為だけが小さな楽しみになっていたのだ。

それも、娘が中学生になる年にはやめようと決めていた。

娘からすれば私は知らないおじさん、こうしてずっとプレゼントが届いても迷惑だろう。

娘には新しい未来がある。私も別の道を歩まなければいけない。ただ娘の幸せだけを願い、英語の辞書を送って最後にした。

それから一ヵ月ほど経ったある日、私のアパートに郵便物が届いた。差出人の欄にはなにも書かれていない。

小さな箱を開けてみると、中から出てきたのは紺色のネクタイピンとメッセージカード。

メッセージカードを開くとそこには初めて見る可愛い文字が並んでいた。

<いつも素敵な誕生日プレゼントをありがとう。

私もお返しをしようと思ったのだけど誕生日がわからなかったので(汗) 今日送ることにしました! 気に入るかなあ……見知らぬ子どもより>

その瞬間はとっした。

その日は、父の日だった。